

|     |          |                |
|-----|----------|----------------|
| 科目名 | 専攻科ゼミナール | 科目コード<br>A2030 |
|-----|----------|----------------|

|        |                             |      |            |                        |                                |
|--------|-----------------------------|------|------------|------------------------|--------------------------------|
| 専攻名・学年 | 物質工学専攻 1 学年<br>(プログラム 3 学年) | 担当教官 | 物質工学専攻 全教官 |                        |                                |
| 単位数    | 2 単位・必修                     | 開講期間 | 後期         | 時間数                    | 30 時間                          |
|        |                             |      |            | 内訳 <small>(時間)</small> | 講義(0), 演習(0)<br>実験(0), その他(30) |
| 教科書    | 担当教官が指示                     |      |            |                        |                                |
| 補助教材   | 担当教官が指示                     |      |            |                        |                                |
| 参考書    | 担当教官が指示                     |      |            |                        |                                |

|   |       |
|---|-------|
| A 科目の概要   |       |
| <p>現在、化学・生物科学関連の論文は、ほとんどが英文で出版されている。また総説書類についても進歩が早く翻訳版が追いつかないのが現状である。そのため英語文献の速読はきわめて重要となる。特別研究指導教官の下で、研究テーマに関連した論文や文献を読むことによって、英語速読力を着けると共に研究テーマの基礎知識、背景や最新の情報を得ることを目指す。</p>  |       |
| B 到達目標  |       |
| <p>情報検索技術を習得する。<br/>         文献を通じた技術者・研究者倫理を理解する。<br/>         プレゼンテーション能力を習得する。<br/>         専門分野の英語文献読解能力を習得する。</p>  |       |
| C 長岡高専の学習・教育目標との対応  | ( G ) |
| D 履修上の注意  |       |
| <p>英語力は必須です。正しい情報を早く読むことは絶対に必要な技術ですので、是非身につけてください。また、膨大な量の技術情報から目的の情報を検索・選択する能力の習得は、今後さらに重要となります。</p>   |       |
| E 評価方法  |       |
| <p>情報検索技術の習得状況を各学生の研究に合った論文を検索できたかレポートで評価する。(25%)<br/>         文献を通じた技術者・研究者倫理の理解度をレポートで評価する。(20%)<br/>         プレゼンテーション能力の習得度を発表会の発表で評価する。(20%)<br/>         専門分野の英語文献読解能力の習得度をレポートで評価する。(25%)<br/>         定期試験【0%】(前期中間(0), 前期末(0), 後期中間(0), 後期末(0))、その他の試験【0%】、レポート【80%】(英語論文の発表用提出レポート)、その他【20%】(発表内容とその理解度)<br/>         の割合で到達目標に対する理解の程度を評価する。60 点以上を合格点とする。</p> |       |

